

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五
藤枝市藤枝四一七
大慶寺 大場正昭
Tel. 〇五四-六四一-二二九
Fax 〇五四-六四四-六二六
✉ ohba@enmyozan.org

少年少女スプリングスクール開校

感謝する気持ち、やさしい心、共に生
きる心を育てることを目指します。友達
等誘ってご参加下さい。

■日時 3月23日(木) 9時～16時(日帰り)

■場所 焼津市 上行寺

■対象 小学生 中学生

■会費 1000円(昼食、保険代を含む)

詳細は大慶寺までお問い合わせ下さい。

役員会 (総代世話人会) 開催

2月18日、午後2時より役員会 (総代
世話人会) が開催されました。

護持会の28年度決算を承認し、29年度
予算案を審議し決定致しました。

更に、日蓮聖人降誕八百年記念事業に
ついて審議され、建設委員会を組織して
詳細検討していくことになりました。

また、大井市郎総代が勇退し、石垣善
康さんが、新総代に就任致しました。

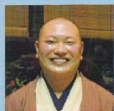
詳細は近々にお送りする「護持会報第
19号」をご覧下さい。

別世帯の子供、お孫様等にも法話箋をお届け致します。申し込みは寺まで。

高座説教と落語の高座バトル
 落語の起源は、仏教の高座説教と云われている。「落語の祖」の安楽庵策伝（豊臣時代）というお坊さんが、当時の笑い話を纏めた醒睡笑（せいすいしよ）という本を作ったそうだ。
 「初めしんみり、中おかしく、しまい尊く」という説教の基本から、おかしくの部分を特化させたのが落語。
 前座という言葉は仏教用語。落語家さんが話し始める時、扇子を横にして置くが、これは仏教でいう境界を意味し、演者と聴衆を分ける線である。また、手ぬぐいはマンダラと呼び、これも仏教用語。

高座バトル

「落語」vs「説法」!?



古今亭しん好



雷門音助



久住謙昭



大場唯央

高座説教と落語の高座バトル
 落語の起源は、仏教の高座説教と云われている。「落語の祖」の安楽庵策伝（豊臣時代）というお坊さんが、当時の笑い話を纏めた醒睡笑（せいすいしよ）という本を作ったそうだ。

期日 3月25日(土)
 第一部 14時半〜16時半
 第二部 19時〜21時
 参加費 2500円
 小学生〜大学生は500円
 3月22日まで
 大慶寺

このように説教と落語は昔より密接な関係にあった。
 そんな縁から、今月25日に左記のように「高座バトル」と称し、同じ題材で、お坊さんと落語家さんが話しをする。聞き比べである。
 お坊さん側は、テレビ「ぶっちゃけ寺」出演の久住謙昭（日蓮宗 神奈川県妙法寺住職）と大場唯央。落語家さんは、藤枝市出身の古今亭しん好（真打）と雷門音助（二つ目）。
 正直、どんな具合になるか全く未知の世界であるが、興味深いセッションングではある。彼岸明けの土曜日。是非ご来場頂きたい。